

寺報

No.599

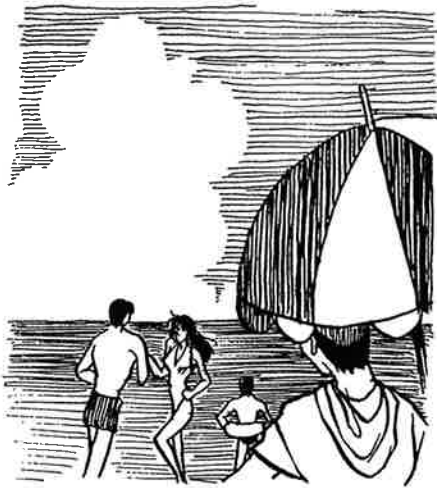
平成29年7月

蓮華寺
行

御聖訓

若然もししからば法華經げんぜは現世あんのん安穩あん、
後生ごしやう善処ぜんじよの御經おんきやうなり。

『彌源やげん大殿ただの御返事ごんじ』



海水浴

(解説)

例えば、お金というものはその人の心がけ次第で有効に使う事が出来ますが、ただ使い方を間違うとすべてを失ってしまうものであります。

法華經もまた同じ様に、その人の信仰の仕方や心がけ一つによって、暗闇には光りの役目をし、渡りには舟となり、常に我々の為のご守護をしてくれるのです。

しかし、法華經を有り難いと分かっている人でも、信仰をしなかつたり、また信心に徹しない人には、せつかくの宝を目の前にして、その価値が分からないのと同じで、そのご守護を戴けないのです。

ですから、我々は日蓮大聖人の教えを守り、法華經を読み、お題目を唱え、そしてお守り(靈神符)を着体するという信仰をつらぬき通し、そして未信の方に對し指導をしていく事が大事なのです。

これにより、初めて法華經は「現世安穩・後生善処」のお經であるといえるのです。

鬼子母神大祭

七月八日(土)

午後六時半より

法話：日蓮宗青森県宗務所協議員長
つがる市 要心寺住職

加藤 知宏 上人

*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

②ご祈祷がありますので、どうか法要の開始時間に合わせてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。



お知らせ

【一般御祈願】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円(読み上げ・木札)

御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円(読み上げ・お札)

各家庭にお祈りしています「鬼子母神様」の御尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祈りし、僧侶全員にて読経・ご祈祷し、お名前も読み上げします。

どうぞご持参下さいますように、お願い致します。尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺にお預かり下さい。

鬼子母神様

現在、日蓮宗の寺院では恐らく鬼子母神様を祀っていないお寺はないと思われれます。

特に有名なのは千葉県市川市中山にあり、毎年日蓮宗大荒行が開かれます、日蓮宗祈祷根本道場『法華経寺』の鬼子母神様です。

これは、日蓮大聖人が『小松原の御法難』の際、大聖人の現前に現れ敵からの攻撃を大難から小難にして助けてくれたという、伝説の鬼子母神様で、その時大聖人が感得したお姿を自らが彫刻され、弟子に信仰を託されたという、鬼のお顔をしました「鬼形鬼子母神様」です。

また東京では、豊島区雑司が谷『法明寺』にある鬼子母神様が有名です。

ここの鬼子母神様は、左手に子供を抱き右手にザク口を持つ天女のお姿をした「子安鬼子母神様」ですが、靈驗あらたかたで、特に徳川家康が天正十九年(一五九一)に寺領を寄進し、歴代將軍の武運長久を祈った事でも知られ、参拝者も非常に多いお寺です。

他に、台東区入谷の『真源寺』の身の丈六センチの「子安鬼子母神様」ですが、ここも靈驗特に著しく、特に江戸時代の狂歌師『大田蜀山人』は、その効驗に驚き

「恐れいりやの鬼子母神」と歌い、当時の流行語となつたほど有名な鬼子母神様です。

このように日蓮宗では、鬼子母神様を法華経擁護の善神として代々大切にお祈りしてきました。ですから、当山の檀信徒もお姿(ご神体)や掛け軸をご自宅にお祈りし熱心に信仰してきたのです。

でも中には、代々お祈りしました鬼子母神様を、勝手な理由を付けて納めたりする人もいます。今まで、お子さんお孫さんを守り続け、また家内の安全、身体の健全、因縁罪障の消滅とお力を戴きました恩を忘れてはいけません。

どうか皆様は大聖人の教えを良く守り、今後鬼子母神様を大切にしたいと思ひます。

鬼子母神



檀信徒研修会のお知らせ

七月二十二日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本)・事務所にて、数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓を叩いて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

*ご自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

②足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。

秘密厳守ですので、どうぞご安心下さい。

霊断は必ずご予約下さい。

☎776-5840

【相談料は原則として一件三千円となります】

お寺のお勤め

- ◎『盛運祈願会』(一日) 午後一時より
- ◎『日蓮大聖人の御命日』(十三日) 午後一時より
- ◎『朝のお勤め』(毎朝) 午前六時半より
- ◎『龍神様・七面様』の日(十九日) 朝のお勤め中
- ◎『最上稻荷様』の日(二十二日) 朝のお勤め中
- ◎『鬼子母神様』の日(二十八日) 朝のお勤め中
- ◎『大黒様』の日(甲子の日) 朝のお勤め中

ご自由に参拝して下さい！

〈読者の質問箱〉

祈禱と修法の違いは？

【問】良くお寺の『祈禱会』に参拝しますと、ご祈禱をするお坊さんを「祈禱師」と呼ばないで「修法師」と呼んでいます。祈禱と修法とは違うものなのでしょうか。

【答】大きな意味でいいますと、相違はありません。我々が毎朝、神仏に対して祈る事が、全て祈りといいますが『祈禱』というのです。

しかし、日蓮宗では檀信徒が行います祈禱に対し、大荒行堂・寒壺百日間の修行を終え、特別に相伝を受けた僧侶が行います祈禱を『修法』といつて区分けしているのです。

そして、この祈禱する僧侶を「祈禱師」と呼ばないで、「修法師」と呼んでいるのです。

本来、修法とは、厳しい修行によって得られる特別な力を持つ祈りの方法、また光徳を施す力を持つ祈りの方法というような意味となっています。

つまり、理論的に解明しても身に付くようなものではなく、身を以つて心身の限界に挑むような修行の中から会得されるものなのです。

さて、我々の「祈り」とは、その時の環境やその人の置かれた立場によつて、内容が異なります。日常的な家内の安全や家族の健康を願う場合、また不治の病を宣告された人や破産寸前に追い込まれた人が必死の思いを込めて祈る場合などです。

だが、これらの違いがあつたとしても、安樂を願ひ、苦しみから抜け出す事を願う事には変わりはないのです。

日蓮宗でいうご祈禱は、祈りの力によつて、自分自身が神仏の慈悲にすがり、苦しみや悩みの原因になつて

いるものを断ち切る処に独特のご利益があるのです。その為には、神仏や修法師の祈りに頼るだけではなく本人自らが法華経・「南無妙法蓮華経」のお題目を唱え、必死に祈るように努力しなければなりません。

神仏―修法師―本人、この祈りが一体となつた時に、初めて我々に本当のご加護が授かるのです。

『位牌壇』募集中!

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「お正月」「御会式」に下げます『提灯』(トローロー)を限定で三個募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

霊神符を持ちましょう!

最近は何いもよらない災害や事故、事件が多発してたくさんの方々が巻き込まれています。

皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、どうぞ素直に毎月、霊神符(お守り)を肌身離さずお持ちになります様お願い致します。



☆十三日(日蓮大聖人の月命日)のお勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に棚経たなぎょうを八月の十四日(月)より十六日(水)まで『旧市内』、十七日(木)より二十日(日)までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。

一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてしまいます。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の棚経のご依頼が多くなつてきています。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行う状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日(火)からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようにお願い致します。

なお、例年通りの日時にお伺いする方は、そのままです。

どうかご協力をよろしくお願い致します。

新たに蓮華寺の檀家を

希望する方へ!

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申し込み下さい。

いつでも登録出来ます。

その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費(年六千円)のみを納めて戴きます。

また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も無料で普通戒名を授けております。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊(大曼荼羅)・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

七月の行事

一日(土) 『盛運祈願会』 午後一時より

- ・毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きませう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



五日(水) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

八日(土)

鬼子母神大祭 午後六時半より

十三日(木) 『日蓮大聖人の御命日』 午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
- ・日蓮大聖人様へのご報恩を忘れずに参拝し、一緒に お経とお題目を唱えましょう。

二十二日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

五日(水) 『鬼子母神大祭』のお手伝い

- ・教宣部男女 午前九時より
- ※大本堂の幕、祭壇、ノボリ、ちようちん等の掲揚

八日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い

- ・教宣部男女 午後三時より

九日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け

- ・教宣部男女 午前十時より
- ※『鬼子母神大祭』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

※時間までにご集合下さい。

- 奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
- 教宣部長・杉淵昌三

おきめたいに奉仕しましょう